



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和7年3月6日(木) NO.12

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「有終の美を飾る」

校長 田中 宏志

令和6年度も残すところあと1ヶ月となりました。そこで、3月を充実したものとするために、津幡南中学校の「有終の美を飾る」とは何かについて、みなさんと考えていきたいと思います。

「有終の美」とは、最後に素晴らしい結果を残すという意味の言葉です。「有終」には「最後までまっとうする」「終わり」という意味があり、そこに「美」が組み合わさっているので、美しい、または素晴らしい、立派な結果であることを表す表現であると考えられます。また、「求める結果にたどり着くために最後までやり遂げる」という意味合いで使われることもあります。終わりと聞くとネガティブなイメージが持たれることもありますが、「有終の美」はポジティブな意味合いで用いられることが多いのです。

「有終の美」の由来は少し難しいのですが、中国最古の詩集『詩経』である「初め有らざるなし、よく終わりあるはすくなし」の詩にあるとする説が有力とされています。この詩には「ものごとには必ず始まりがあるが、終わりをうまく迎えられることは少ない」という意味がありますが、このことから転じ、「最後までやり遂げられるのは素晴らしいことである」とされ、そこに「美」という言葉を加えて「有終の美」という表現が生まれたと考えられています。

「有終の美」は「有終の美を飾る」という形で用いられることも多く、「飾る」には価値あるものにするといった意味合いがあります。したがって、「有終の美を飾る」という慣用句は、「最後までやり遂げ、価値ある結果を得た」ということを表します。校長先生は、この「有終の美」の意味の中でもっとも大切なことは、最後までやり遂げるということだと考えています。4月にお話しした通り、みなさんは今、「自分探しの旅」をしている途中です。だからこそ、自分の思い描いた夢や目標を叶えるために、まずは、この令和6年度をやり遂げてほしいと考えています。

さらに、津幡南中学校のみなさんの絆がもっと強くなればよいなと思い、今年度はいろいろな取り組みを行ってきました。みなさんが、その思いにしっかりと応えてくれていることを本当にうれしく思っています。普段の授業や行事で中学1年生から3年生が協力して取り組んでいる姿を見ると、素敵な学校になってきたなと感じることができます。まずはあと1ヶ月、この津幡南中学校らしさを大切に生活を送り、有終の美を飾ってほしいと強く願っています。

■■■ 後期生徒会の皆さん、お疲れ様でした ■■■

2月14日(金)の生徒総会で後輩にバトンが渡されました。後期生徒会の皆さんは、「より良い南中づくり」について真剣に考え、学校放送や各種行事に取り組んできました。皆さんの思いは、来年度、前期生徒会の皆さんが引き継いでくれると思います。本当にお疲れ様でした。

【後期生徒会役員の皆さん】 15名

会 長：甲部 尚子	副会長：西川 恵矢	副会長：谷川 瑞季
書 記：堀内 聡介	書 記：森原 菜月	
広 報：赤坂 悠真	広 報：丸世 琉華	
文 化：森田 蘭	生 活：山崎菜七子	保 健：上杉美衣那
給 食：谷口ゆずの	体 育：畠中 健瑠	美 化：友部 来望
図 書：水岡 初花	選 管：萩 柊太	



★生徒指導より★

【3月の生活目標】

1年のまとめとともに、新学年に向けての心構えを持って生活しよう。

<令和6年度の締めくくりと来年度へ向けて>

【3年生へ！】

- ①中学校の授業をやりきろう！ ②先輩として正しい行動で後輩に示そう！
- ③3年間の自分の成長を褒めよう！

【2年生へ！】

- ①成長したこと、足りないことを考えて学校生活を送ろう！
- ②最高学年として、自分はどうかあるべきかを考えて行動しよう！

【1年生へ！】

- ①成長したこと、足りないことを考えて学校生活を送ろう！
- ②先輩になるための正しい言動を心がけて行動しよう！



<「先見の明（せんけんのめい）」を持てる人> ～アリとキリギリス～

「先見の明」とは、将来起こる可能性のある出来事をあらかじめ想定し、現在の行動に反映させられることです。あなたはどうか？今のことに精一杯になっていたり、今、良ければいい、と思いがちになっていませんか。今の自分の行動が、将来にどうつながるか。予想を立てられる人になろう。きっと自分が得をすることにつながると思います。

アリとキリギリスという童話がありました。先見の明を持っているのは、アリとキリギリス、どっち？



★学習指導より★

◇3月の学習目標◇

一年間の学習の締めくくりをしよう

◎ あいさつ・発言の声を大きく ◎ 積極的に挙手・発言 ◎ わからないところを重点学習

☆自分の成果を整理して、来年度のさらなる成長につなげよう！

今年度も残すところあと1か月となりました。今年度のことを今一度振り返り、年度初めにたてた目標を再確認しましょう。今年1年間でできるようになったことや来年度もう少し頑張りたいことなど、自分の成果を整理して、来年度のさらなる成長につなげていきましょう！学年目標をもとに以下で整理します。

【1年生】

「努力」「挑戦」「考動」の三つの柱を目標に中学校生活をスタートさせましたね。「努力」「挑戦」「考動」の三つの視点を学習でも生かしていきましょう。2年生では、右のような形で実践していきましょう！

1年生



「三つの柱」を学習でも意識！

【努力】提出物のべ切厳守

【挑戦】自分の苦手と向き合う

【考動】ベル学・授業終始の挨拶

【2年生】

「たがいを認め合う」を目標に一年間様々なことに取り組んできましたね。来年はさらにステップアップして「高め合う」ことを意識しましょう。授業では、たがいの意見を認め合い、良い雰囲気を作っていく、受験に向けて集団力を高めていこう。講座学習などを通じて、こつこつと受験を戦う力を備えよう！

2年生

「たがいを認め、高め合う」

たがいの意見を認め合う授業

→自分の考えを積極的に表現

たがいに高め合う雰囲気づくり

→小テスト合格

学習習慣の定着化(講座)



【3年生】

「終わりのなき挑戦」を目標に1年間頑張ってきましたね。もうすぐ公立高校一般入試です。ここまで、いろいろなことを我慢して受験勉強に励んできたことでしょ。ラストスパートの挑戦です。そして、ここで挑戦は終わりません。高校入学後も、節度のある生活、家庭学習習慣を継続していきましょう！

3年生

「終わりのなき挑戦」は続く！

入試に向けたラストスパート

そして…節度ある生活

(メディアコントロールなど)

家庭学習習慣の維持